



## 【1】一種研開催報告

2023年6月の一種研は、6月15日に機械振興会館で開催されました。発表は一般講演6件とIEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件の合計7件でした。特別講演では、「奥村善久先生の先駆的な電波伝搬研究と大学教育」と題して、金沢工大の野口啓介教授から講演をいただきました。

野口先生は、奥村先生の生前エピソードを交えながら、奥村先生の経歴や代表的な「奥村モデル(奥村カーブ)」の研究業績、工学分野のノーベル賞に匹敵するチャールズ・スターク・ドレイパー賞の受賞、大学教育特に学生の就活教育への取り組み、そして後輩へのエールなどを分かりやすく解説してくださいました。講演は大変好評を博しました。

また、一種研の開催後に約30名程の方が懇親会に参加され、和やかな雰囲気でも過ごしました。この懇親会の復活に参加者からはこれから再び定着していくという喜びの声が聞こえました。



写真1 懇親会後の集合

## 【2】A・P研表彰報告

上記一種研の中で、A・P研の表彰式を行いました。受賞者の方々を以下に紹介します(敬称略)。受賞者の皆様、おめでとうございます!!

### ◆2022年度活性化貢献賞

保前 俊稀(ソフトバンク)、山口 良(ソフトバンク)、  
Derek Gray(Glasgow Univ.)

### ◆2022年度下期若手奨励賞・学生奨励賞

・若手奨励賞 多和田 基史(ソフトバンク)、間宮 拓朗(三菱電機)  
・学生奨励賞 小森谷 勇二(東京電機大)、高橋 莉玖(新潟大)、  
武田 裕貴(東工大)

### ◆2022年度功労賞

山田 寛喜(新潟大学)、藤元 美俊(福井大学)、道下 尚文(防衛大学校)、  
岩井 誠人(同志社大学)、高橋 徹(三菱電機)、黒川 悟(産業技術総合研  
究所)、中林 寛暁(千葉工業大学)、有馬 卓司(東京農工大学)、山田 渉(NTT)、武田 茂樹(茨城大学)、西村 寿彦(北  
海道大学)、北 直樹(NTT)、大島 一郎(電気興業)、豊見本 和馬(ソフトバンク)、辻 宏之(情報通信研究機構)、山ヶ城  
尚志(富士通研究所)、齋藤 健太郎(東京電機大学)、佐藤 啓介(電気興業)、木村 泰子(NTT ドコモ)、余 元峰(産業技  
術総合研究所)、橋本 紘(東芝)、本間 尚樹(岩手大学)、久世 竜司(熊本大学)、松川 沙弥果(産業技術総合研究所)、  
紀平 一成(三菱電機)、新井 宏之(横浜国立大学)、中野 雅之(KDDI 総合研究所)、大塚 昌孝(三菱電機)、長 敬三  
(千葉工業大学)、李 可人(NICT)、広川 二郎(東京工業大学)、今井 哲朗(東京電機大学)、飴谷 充隆(産業技術総合  
研究所)

### ◆2022年度活動貢献賞

中野 雅之(KDDI総合研究所)

活性化貢献賞は、対象期間に最も多く発表され、活性化に貢献いただいた方です。また、奨励賞は優秀発表として規定に基づき選出された方です。功労賞は委員会活動を通してA・P研の活動に貢献された方への賞です。AP研の組織維持・拡大に対して長年の功労があり、その業績が顕著である方の賞です。



写真2 表彰式の様子



写真3 電波望遠鏡見学

## 【3】無線端末・アンテナシステム測定技術研究会(AMT研、第二種研究会)開催報告

2023年6月1日(木)に長野県 南牧村教育委員会中央公民館でAMT研究会が開催されました(実行委員長中野雅之氏)。11件の発表があり、そのうち、1件が招待講演でした。招待講演は国立天

文台野辺山宇宙電波観測所の前所長の川邊良平先生に電波天文とアンテナの技術的についてご講演いただきました。参加者は28名(17名はオンライン)でした。夜はレタス畑の中にある「花吹雪」にて技術交流会を行い、親睦を深めました。また、翌日は、国立天文台野辺山宇宙電波観測所の技術見学会を開催しました。参加者13名で、台風接近の大雨の中ですが、45mミリ波電波望遠鏡、ALMA プロジェクトへの道を拓いたミリ波干渉計のアンテナ、展示室などを見学しました。

#### 【4】A・P研執行部新任者の挨拶

2023年度のA・P研執行部および各委員会委員長は下記の体制となりました(敬称略)。

執行部 委員長: 榊原 久二男(名工大) 副委員長: 袁 巧微(東北工大)  
幹事: 紀平 一成(三菱電機), 本間 尚樹(岩手大) 幹事補佐: 村上 友規(NTT)  
各委員会 WS常設: 今井 哲朗(電機大), 論文: 木村 雄一(埼玉大), 伝搬DB: 市坪 信一  
アンテナの歴史: 山口 良(ソフトバンク), 表彰: 北尾 光司郎(NTTドコモ)  
国際: 福迫武(熊本大)

今回、新任のA・P研執行部の委員長・副委員長および幹事の挨拶をお送りします。

**【榊原 委員長】** AP研委員長を担当することになりました。AP研は日本のAP分野全体の方向性を決める組織であると言っても過言ではなく、この分野の研究者の皆様が活躍し、ご所属の組織や国内で、さらには電子情報通信学会の枠にとらわれず、世界で高く評価されるように、研究の発表の場、交流の場、学びの場を提供していけるように運営して参りたいと思います。よろしくお願い致します。

**【袁 副委員長】** この度、AP研の副委員長に就任しました東北工業大学の袁です。AP研は50年以上の歴史を持つ研専であり、初めての女性執行部メンバーとして選ばれたことを大変光栄に思っています。副委員長の主な業務は、懇親会の締役やお知らせの担当などと言われ、AP研全体の方針に従い、支える役割を果たすと同時に、より活発なAP研究活動に微力ながら貢献していきたいと考えています。2年間よろしくお願い申し上げます。

**【本間 幹事】** この6月よりアンテナ・伝播研究専門委員会の幹事を拝命した岩手大の本間と申します。幹事は英語でSecretaryですが、英和辞典を見ますと、幹事の他に長官・大臣・秘書官などすごい意味が含まれるようです。語源はSecret(秘密)から来ているようで、重要な事柄を扱う仕事を担当させていただけるとのことで責任を感じております。通ソの中でも発表件数は1・2位を争う最も活発な研究専門委員会の一つということでプレッシャーもありますが、皆様のお役に立てるよう貢献申し上げます。

#### 【5】副委員長の戯言

##### ◆智・徳・体とは

野口先生の特別講演では、奥村先生の信条と私たちへのエールの一つとして、「35歳までに智・徳・体を養成する」という内容で締めくくられました。その智・徳・体について、ネットで調べてみたところ、それが150年前にイギリスの教育家ハーバート・スペンサー(Herbert Spencer)が『教育論』にて提唱されたものと分かりました。『教育論』では、人間の発達と教育のプロセスを知識(intellectual)、道徳(moral)、体力(physical)の3つの側面に分け、個人の自己形成と社会に適応するために、バランスの取れた成長が重要であると強調しています。奥村先生は正にこの理念を生涯を通じて実践された偉大な研究者であることに感銘を受けました。

---

#### 〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 袁 巧微(東北工業大学)

E-mail: ap\_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET: A・P研最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPIにて

A・P研HP: <https://www.ieice.org/cs/ap/>

